

朝日新聞 2018年9月27日付

介護職を目指し1人だけの卒業式

広域通信制の第一学院高校富山キャンパス（富山市新桜町）で26日、1人だけの卒業式があった。病気や友達関係に悩んで一度は高校を中退したものの、同校に編入し、介護施設のアルバイトで学費を稼ぎながら勉強を続け、卒業にこぎ着けた。

この日卒業した高岡市の女子生徒（18）は、昨春から1年半、同校に通つた。

別の高校に入学直後、病気で入院と手術を経験。その後高校で福祉分野の勉強をしたかったが、体の状態から将来、福祉の仕事を就けるか疑問に思つたことや、友達関係の悩みもあり、2年生の途中で中退した。

卒業式で倉沢弘明キャンパス長は「周りに多くのプラスの影響を与えた」とたたえた。女子生徒は「不安もあったけど、あり

第一学院高 18歳女子生徒



入学。アルバイトと勉強を両立させ、この日を迎えた。

のままの私を見てくれる先生がいて安心しました」。

不安だった福祉の仕事もアルバイトを通じて続けられると思い、今後は県内の介護施設で働きながら、介護福祉士を目指すという。

（吉田真梨）